

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

2012年11月2日
株式会社電通国際情報サービス

AGENDA

第1部 2013年3月期第2四半期決算概況、 および通期業績予想

取締役 専務執行役員
上原 伸夫

第2部 上期総括と中期経営計画推進状況

代表取締役社長
釜井 節生

I . 2013年3月期第2四半期決算概況、 および通期業績予想

取締役 専務執行役員
上原 伸夫

- 3 -

(1) 2013年3月期 第2四半期 連結業績

【前期比】 売上高は+10.5%の増収。研究開発の拡大等により販管費は増加したものの、増収により吸収し、営業利益は+65.6%の増益達成。不採算案件は上期中に収束。

【予想比】 売上高は+7.2%の計画超過。売上総利益率が計画比改善した一方、販管費は計画並みとなったことから、営業利益は+189.6%の計画超過。

(単位：百万円)

	2013.3期 第2四半期	前期との比較			期初予想（5/11発表）との比較		
		2012.3期 第2四半期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
売上高	33,867	30,638	+3,229	+10.5%	31,600	+2,267	+7.2%
売上総利益	10,641	9,690	+951	+9.8%	—	—	—
売上総利益率	31.4%	31.6%	▲0.2pts	—	—	—	—
販管費及び一般管理費	9,163	8,797	+366	+4.2%	—	—	—
営業利益	1,477	892	+585	+65.6%	510	+967	+189.6%
営業利益率	4.4%	2.9%	+1.5pts	—	1.6%	+2.8%	—
営業外収益	155	167	▲12	▲7.2%	—	—	—
営業外費用	22	42	▲20	▲47.6%	—	—	—
経常利益	1,609	1,017	+592	+58.2%	530	+1,079	+203.6%
特別利益	—	106	▲106	—	—	—	—
特別損失	79	—	+79	—	—	—	—
四半期純利益	946	716	+230	+32.1%	270	+676	+250.4%

- 4 -

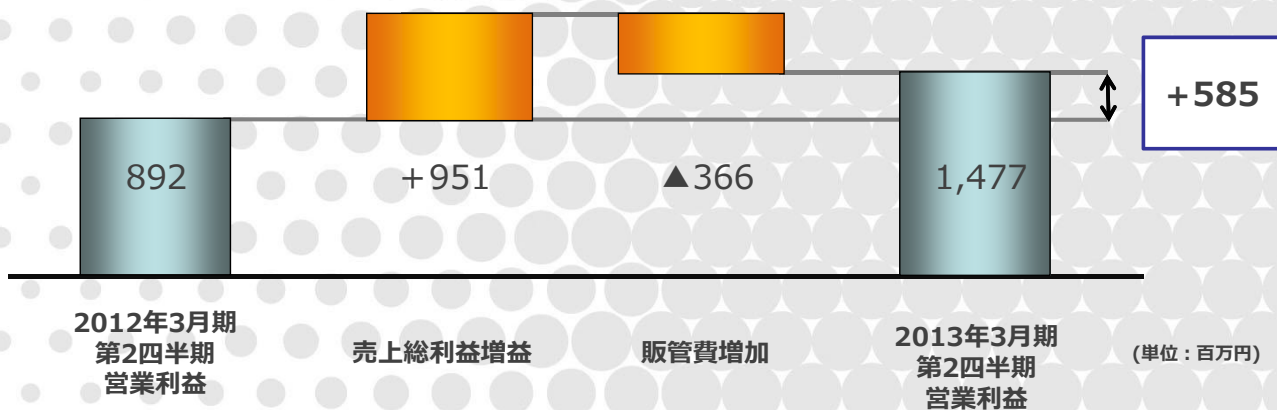
(2) 連結営業利益の増減要因(前期比)

売上総利益
主な増減要因
(+951)

・増収効果 (+約10億円)

販管費
主な増減要因
(+366)

・研究開発費 (+1.3億円) を中心に増加



(3) 事業セグメント別 連結売上高

【前期比】

金融

メガバンク/地域金融機関/リース会社/損保向けの拡大とiSiDフェア社の新規連結効果。

ビジネス系

人事管理「POSITIVE」が好調も、会計分野・基幹システム分野が伸び悩み。

エンジニアリング系

コンサルティングとソフトウェア製品「iQUAVIS」が自動車業界向けを中心に拡大。

コミュニケーションIT

電通の基幹システム構築ならびに電通との協業ビジネスが拡大。

(単位: 百万円)

	2013.3期 第2四半期	前期との比較			期初予想 (5/11発表) との比較		
		2012.3期 第2四半期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
金融ソリューション	9,561	8,801	+760	+8.6%	8,652	+909	+10.5%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	6,537	6,679	▲142	▲2.1%	6,713	▲176	▲2.6%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	9,583	9,473	+110	+1.2%	9,331	+252	+2.7%
コミュニケーションIT	8,184	5,684	+2,500	+44.0%	6,902	+1,282	+18.6%
合計	33,867	30,638	+3,229	+10.5%	31,600	+2,267	+7.2%

(4) サービス品目別 連結売上高

【前期比】

コンサルティング
受託システム開発
ソフトウェア製品
ソフトウェア商品
アウトソーシング
情報機器他

製品開発における構想設計、解析、実験等の分野が自動車業界向けを中心に拡大。
メガバンク/地域金融機関/リース会社/損保向け、および電通向けが拡大。
「POSITIVE」「iQUAVIS」が拡大。
電通グループとの協業分野（SFDC社Salesforceライセンス）が拡大。
ISiDファネルの新規連結効果。
基幹システム分野における機器販売が伸び悩み。

（単位：百万円）

	2013.3期 第2四半期	前期との比較			期初予想（5/11発表）との比較		
		2012.3期 第2四半期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,278	1,035	+243	+23.5%	1,067	+211	+19.8%
受託システム開発	11,152	9,168	+1,984	+21.6%	9,967	+1,185	+11.9%
ソフトウェア製品	4,011	3,807	+204	+5.4%	3,939	+72	+1.8%
ソフトウェア商品	11,167	10,628	+539	+5.1%	10,821	+346	+3.2%
アウトソーシング・運用保守サービス	3,090	2,752	+338	+12.3%	2,830	+260	+9.2%
情報機器販売・その他	3,166	3,245	▲79	▲2.4%	2,974	+192	+6.5%
合計	33,867	30,638	+3,229	+10.5%	31,600	+2,267	+7.2%

(5) 連結キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	2012年4月～ 2012年9月	2011年4月～ 2011年9月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	2,940	1,798	+1,142
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,161	▲451	▲710
財務活動による キャッシュ・フロー	▲892	▲952	+60
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲71	▲89	+18
現金及び現金同等物の 増減額（▲は減少）	815	304	+511
現金及び現金同等物の 期首残高	10,562	11,417	▲855
現金及び現金同等物の 期末残高	11,788(※)	11,722	+66

＜今期のピックアップ＞

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益(1,530百万円)
減価償却費(1,435百万円)
前受金の増加(1,580百万円)
前渡金の増加(▲953百万円)

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

無形固定資産の取得による支出(▲825百万円)
定期預金の預入による支出(▲376百万円)

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済による支出(▲557百万円)
配当金の支払(▲325百万円)

(※)連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額410百万円を含む

(6) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2012年 9月30日	2012年 3月31日	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	35,347	33,716	+1,631	預け金の増加 (+1,167百万円) 前渡金の増加 (+948百万円) たな卸資産の増加 (+339百万円)
固定資産	18,191	18,579	▲388	投資有価証券の減少 (▲353百万円)
資産合計	53,538	52,295	+1,243	
流動負債	16,050	15,001	+1,049	前受金の増加 (+1,572百万円) 買掛債務の減少 (▲609百万円)
固定負債	2,632	3,012	▲380	リース債務の減少 (▲229百万円)
負債合計	18,683	18,013	+670	
純資産合計	34,855	34,281	+573	四半期純利益の計上 (+946百万円) その他の包括利益累計額の減少 (▲324百万円)
負債純資産合計	53,538	52,295	+1,243	

(7) 受注・受注残

(単位：百万円)

事業セグメント別	受注高		受注残高	
	2013.3期 第2四半期	前期比 (増減率)	2013.3期 第2四半期	前期比 (増減率)
金融ソリューション	8,805	+15.7%	4,346	+52.7%
エンタープライズソリューション・ビジネス系	3,141	▲27.4%	1,476	▲26.7%
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	1,921	+15.7%	493	+33.2%
コミュニケーションIT	7,190	+196.1%	3,399	+914.6%
合計	21,058	+31.4%	9,716	+74.5%

サービス品目別	受注高		受注残高	
	2013.3期 第2四半期	前期比 (増減率)	2013.3期 第2四半期	前期比 (増減率)
受託システム開発	15,080	+45.4%	7,392	+116.5%
ソフトウェア製品アドオン開発	1,986	+9.1%	1,183	+30.3%
ソフトウェア商品アドオン開発	3,991	+4.1%	1,140	▲8.4%
合計	21,058	+31.4%	9,716	+74.5%

受注・受注残は、当社のサービス品目のうち、受託システム開発、ソフトウェア製品/商品のアドオン開発のみが対象。コンサルティングサービス、ソフトウェア製品/商品のライセンスおよびライセンス保守、アウトソーシング運用保守サービス、情報機器等は含まれておりません。

(8) 2013年3月期 連結業績予想

上期業績は計画対比好調に推移したものの、進行基準による売上の前倒し計上、研究開発費の下期への期ズレ等があることに加え、下期に向けて景気の不透明感が拡大していることから、現時点では通期業績予想の修正を行わない。

(百万円)

	2013.3期 通期業績予想	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率
売上高	67,700	63,869	+3,831	+6.0%
営業利益	3,380	2,349	+1,031	+43.9%
営業利益率	5.0%	3.7%	+1.3p	—
経常利益	3,450	2,496	+954	+38.2%
当期純利益	2,100	1,516	+584	+38.5%

(8) 2013年3月期 連結業績予想

◆事業セグメント別

(単位：百万円)

	2013.3期 業績予想	前期との比較		
		2012.3期 実績	増減額	増減率
金融ソリューション	19,035	17,722	+1,313	+7.4%
エンタープライズ ソリューション・ ビジネス系	14,597	14,063	+534	+3.8%
エンタープライズ ソリューション・ エンジニアリング系	19,852	19,572	+280	+1.4%
コミュニケーションIT	14,214	12,511	+1,703	+13.6%
合計	67,700	63,869	+3,831	+6.0%

◆サービス品目別

(単位：百万円)

	2013.3期 業績予想	2012.3期 実績	前期との比較	
			増減額	増減率
コンサルティング サービス	2,580	2,711	▲131	▲4.8%
受託システム開発	22,189	18,858	+3,331	+17.7%
ソフトウェア製品	9,136	7,965	+1,171	+14.7%
ソフトウェア商品	22,382	22,002	+380	+1.7%
アウトソーシング・ 運用保守サービス	5,862	5,570	+292	+5.2%
情報機器販売・ その他	5,549	6,760	▲1,211	▲17.9%
合計	67,700	63,869	+3,831	+6.0%

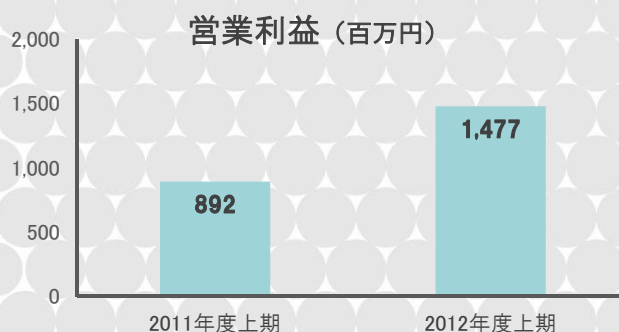
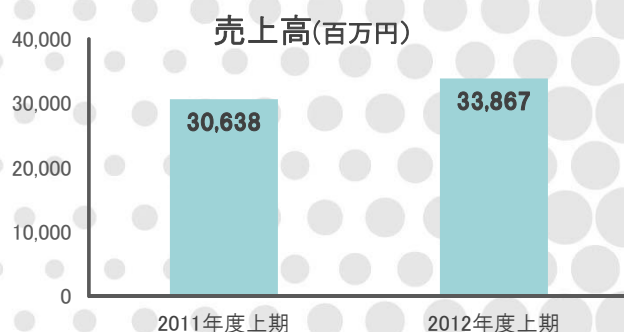
II. 上期総括と中期経営計画推進状況

代表取締役社長
釜井 節生

- 13 -

上期総括

2013年3月期 上期業績

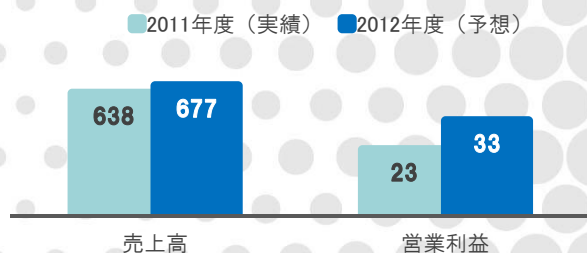


- ・ 金融とコミュニケーションITの拡大等により増収増益達成
- ・ 不採算案件は上期中に収束

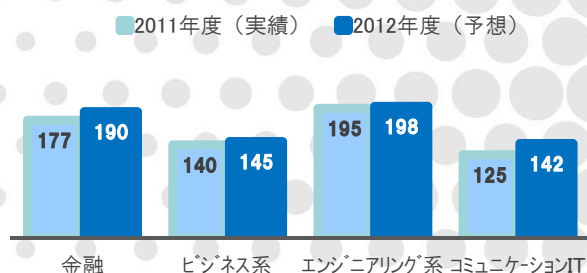
- 14 -

通期見通し

通期業績予想(億円)



セグメント別通期売上高予想(億円)



外部環境

- ・ 欧州の債務危機、新興国の景気減速への懸念等から、不透明感は急速に拡大

通期業績見通し

- ・ 通期業績予想は期初計画を維持

中期経営計画(2012.3期～2014.3期)

「ISiD Open Innovation 2013～価値協創～」

6つの基本方針

①競争優位分野への集中

各事業セグメント、「選択と集中」「顧客インサイト」「グローバル」「クラウド」を共通方針として競争優位分野に集中する

金融

ビジネス系

エンジニアリング系

コミュニケーションIT

②電通との協業加速

③先端技術活用による新規ビジネスの開発

④人材力強化

⑤安定収益基盤の拡充

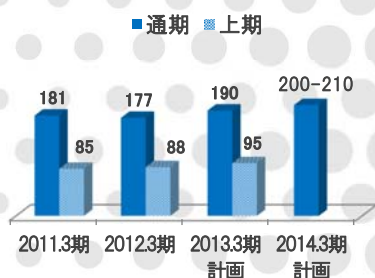
⑥コスト構造改革

中計推進状況<①競争優位分野への集中>

セグメント売上高(億円)

上半期トピックス

金融ソリューション



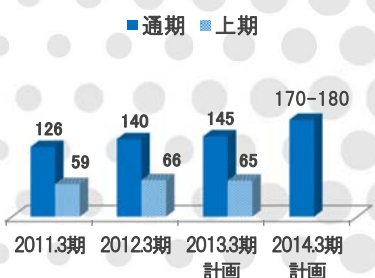
● メガバンク向け

- 海外拠点システム、トランザクションバンキングシステムの受注拡大

● 地域金融機関・その他金融機関向け

- インターネットバンキング、コールセンターソリューション強化
- 次世代BANK・R開発継続
- ネット専業金融機関からの引き合い拡大

ビジネス系



※2013.3期上期数値は実績値

● 人事ソリューション

- 「POSITIVE」導入実績 累計88企業グループ 503社
- 「POSITIVE」次バージョン開発継続～FY13上期に市場投入予定

● 会計ソリューション

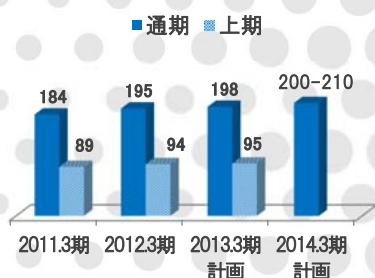
- 「STRAVIS」導入実績 累計426企業グループ
- 「STRAVIS」次バージョン開発継続～FY13上期に市場投入予定

中計推進状況<①競争優位分野への集中>

セグメント売上高(億円)

上半期トピックス

エンジニアリング系



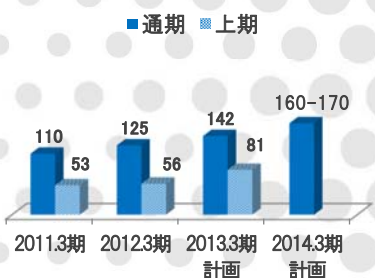
● 構想設計ソリューション

- コンサルティングとソフトウェア製品「iQUAVIS」の売上拡大
- ソリューション導入実績累計53社、関連ソフトウェア製品売上前期比198%

● 製品開発ソリューション

- 次世代の製品開発手法MBD (Model Based Design) を実現するITプラットフォームを、自動車業界を主たるターゲットに開発中

コミュニケーション系



※2013.3期上期数値は実績値

● 電通グループの基幹システム開発運用

- 大型の基幹システム（会計、業務支援、情報系等）構築案件受注

● 電通との協業

- 詳細別掲

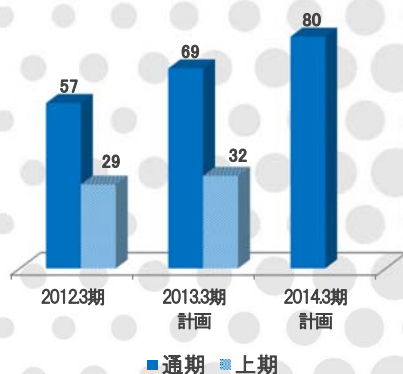
中計推進状況<①競争優位分野への集中>

売上高(億円)

上半期トピックス

事業セグメント共通方針
グローバル

グローバル売上



※ 2013.3期上期数値は実績値

● 中国・ASEAN市場開拓

- 上海現地法人の売上拡大（前期比139%）
- 台湾拠点設立
- ASEAN市場開拓～インドネシア、タイの営業拠点開設検討

● グローバルソリューションの拡充

- 金融機関のグローバル化加速を受けサービス体制強化～ニューヨーク・ロンドン・シンガポール・上海の人員拡充
- リース会社海外拠点向けパッケージ売上拡大（前期比179%）

● その他

- 国際金融イベント「Sibos」出展～トランザクションバンキングシステム、BANK・R中国版など、iSiDグループのグローバルプレゼンスを世界の金融機関にアピール

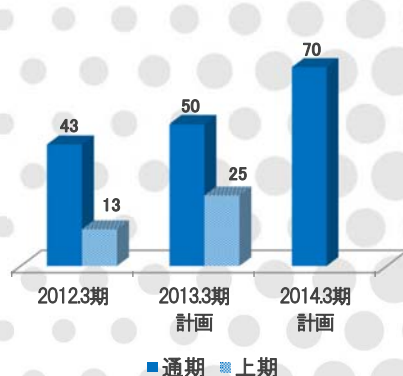
中計推進状況<①競争優位分野への集中>

売上高(億円)

上半期トピックス

事業セグメント共通方針
クラウド

クラウド売上



※ 2013.3期上期数値は実績値

● クラウドSI

- SFDC社「Force.com」、Amazon Web Services（AWS）を活用したSI拡大
- 金融情報システムセンター（FISC）に対応する「金融機関向けAWS対応セキュリティファレンス」を作成し一部無償公開～金融機関のPaaS/クラウド活用を促進

● SaaS

- 「SAP」、「POSITIVE」、「STRAVIS」のクラウド版引き合い拡大
- 米国発AI「アマゾン」SNSの「Spigit」引き合い拡大
- 製薬業界向け治験業務支援クラウドサービス開発、下期販売開始～京浜地区医療特区のNPO法人に参画し、ヘルスケア領域ビジネスへの本格参入を目論む

● PaaS/IaaS

- 電通協業の基盤となるプラットフォーム「iPLAss」市場投入
- 独自IaaSサービス「CLOUDiS」を活用したインターネットバンキング、インターネット投票サービスの売上拡大

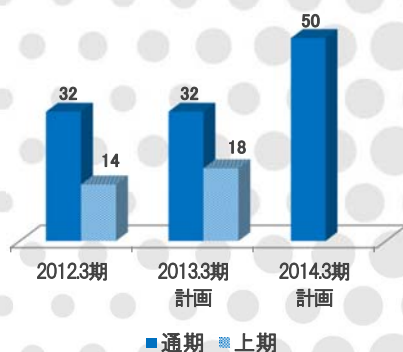
中計推進状況<②電通との協業加速>

売上高(億円)

上半期トピックス

電通との協業

電通協業系売上



※ 2013.3期上期数値は実績値

● SIソリューション

- SFDC社の「Force.com」を活用したクラウド上のアプリ開発が公共向けや企業のCRM領域等で売上拡大

● プラットフォームソリューション



- 電通協業の基盤となるプラットフォーム「iPLAss」市場投入～通販や電子雑誌流通プラットフォームなどに導入実績拡大
- イノボ発案件：街を活性化させる1k1kプラットフォーム市場投入

● ビッグデータ/BIソリューション

- 電通が目指すMarketing Intelligenceビジネスへの連携～CRM構築等の共同提案推進

● 協業領域の拡大

- インターネット投資信託サービス強化（電通、iSiDファイナンスとの協業）
- 金融機関のウェブサイト戦略コンサルティングサービス開始（電通イマーケティングワンの協業）

中計推進状況<③先端技術活用による新規ビジネスの開発>

上半期トピックス

オープンイノベーション研究所



イノボコネクションスタジオ

● 先端技術を活用した取り組み

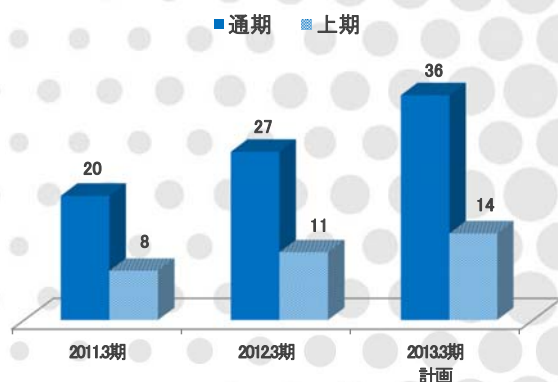
- 位置測位技術、センサー技術、スマートフォン、ビッグデータなどの技術を軸に、各種実証実験を推進

● 屋内位置測位技術、スマートフォン、ビッグデータの活用により街の魅力を高める新規ビジネスを立ち上げ

- 購買履歴や行動特性等を踏まえて街と人との最適なコミュニケーションを実現する世界初の1k1kプラットフォームを事業化
- 第一弾として、2013年3月竣工予定のうめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」向けに導入予定

積極的な研究開発活動の推進

研究開発費の推移(億円)



※ 研究開発費は経費性と資産性の合算
※ 2013.3期上期数値は実績値

● 上期の主な研究開発活動

- 街を活性化させるIT・クラウドプラットフォームの開発
- 「BANK・R信用リスクモデル」中国対応
- 次世代BANK・R開発
- 「POSITIVE」「STRAVIS」次バージョン開発
- 「iQUAVIS」強化
- 「iPLAss」強化
- 「CLOUDiS」強化
- その他新規ソリューションの研究開発

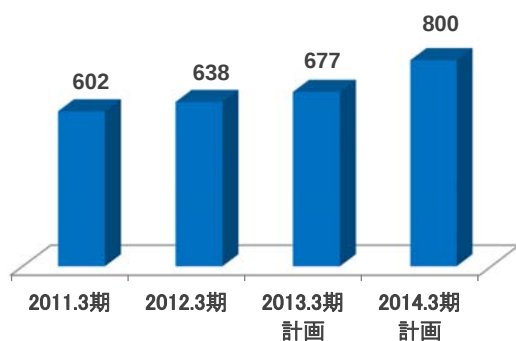
● シンパレーにおける先端ソリューションの調査研究推進

中期経営計画 業績目標

2014年3月期

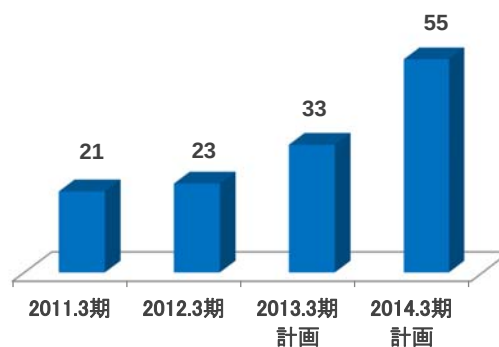
売上高	800億円	営業利益率	7%
営業利益	55億円	ROE	8%

売上高 (億円)



中期経営計画期間

営業利益 (億円)



中期経営計画期間

主要プレスリリース <2012年5月～2012年10月>

金融ソリューションセグメント

- 6/11 佐賀銀行のネット投信に電通グループのトータルサービスを提供
- 6/11 金融機関向け投信ネット販売支援サービスを拡充
- 6/22 地域金融機関などと「中小企業の経営実態把握手法の構築」を目的とした共同研究会を開催、報告書を公表
- 6/29 常陽銀行のコールセンターシステムを刷新
- 6/29 宮崎太陽銀行の営業支援システムを構築
- 9/10 SCSK、iSiD、NRI 3社共同で「金融機関向け『Amazon Web Services』対応セキュリティファレンス」を作成
- 10/10 国際金融会議「Sibos」に出展 ～アジア圏の金融機関向けグローバル・ビジネスを強化～
- 10/19 iSiDと電通イーマーケティングワン、地域金融機関の ネットチャネル強化に向けたウェブサイト戦略コンサルティングサービスを開始

エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント

- 5/9 連結会計クラウド「STRAVIS on CLOUDiS」をアマゾン ウェブ サービス上で提供
- 6/13 連結会計ソリューション「STRAVIS」の管理連結機能を強化
- 7/26 統合人事パッケージ「POSITIVE」「STAFFBRAIN」の就業管理機能を強化
- 7/31 アマゾン ウェブ サービス® 上でのSAP®ソリューション構築サービスを拡大
- 8/31 VTホールディングスの連結会計システムをAmazon Web Servicesクラウドで構築
- 9/14 多摩信用金庫の次期人事給与システムを受注

エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント

- 6/19 JTフォーマットに完全準拠した3Dビューワー「R-3D」を提供開始
- 7/10 製造業向けクラウドPLMサービス「PLEXUS」のメニュー拡充
- 10/23 実物大3次元映像によるバーチャルリアリティ検証システムの提供開始

コミュニケーションITセグメント

- 5/9 iSiDと電通、マーケティング・プラットフォームサービス「iPLAss」の提供を開始
- 8/7 JPメディアダイレクトの通販・EC支援事業向けシステムを構築
- 10/2 街のITプラットフォーム事業に本格参入

クラウド・オープンイノベーション研究所・他

- 7/2 東京大学とiSiD が共同で「世界価値観調査2010」日本データをiPad 分析アプリにて無償公開
- 7/4 スマホで香りを伝える実験イベントを開催
- 9/13 BIOHAZARD CAFE & GRILL S.T.A.R.S.と共同で位置連動スマホアプリを用いた実験イベントを開催
- 9/26 クラウド事業者向け内部統制コンサルティングサービスを開始
- 10/31 台北に拠点設立